

韓統連大阪通信紙

自主

チヤジュ

395号

2024年2月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 大統領夫人、金建希女史をめぐる数々の疑惑に揺れる韓国政界

今年4月の国会議員選挙を前に韓国の政界は揺れに揺れています。その震源地の一つが尹錫悦大統領夫人の金建希(キム・ゴン)女史をめぐる数々の疑惑です。日本のメディアも大きく取り上げるほど、その波紋は広がっています。経歴詐称、論文盗用、ブランドバッグ収賄疑惑、株価操作などがあり、事は絶対権力者である大統領夫人が絡んだ疑惑だけに、政界を揺るがす大事件に発展する様相を呈しています。

最近、大きな話題になっているのがディオールのハンドバッグ贈収賄疑惑です。韓国系米国人牧師のチェ・ジェヨン氏が、2022年9月に金女史と面会した際、ディオールのバッグを贈る様子を時計に仕込んだカメラで盗み撮りした映像を「ソウルの声」が放映したのを契機に表面化したものでした。

韓国各種メディアによると、チェ牧師は活動家として複数回の訪朝経験があり、尹大統領の対北政策に助言を与えるために金女史に近づいたと話しています。ただ「ソウルの声」側の取材方法にも問題があり、隠しカメラとバッグは「ソウルの声」側が用意したもので「仕掛け」に金女史がはまってしまったものでした。しかし、大統領夫人が300万ウォンの値札のついたバッグを受け取ったとなれば、高額の贈りものを貰うことを禁じた倫理違反の可能性が濃厚です。取材方法の問題にかかわらず、事の経緯を国民の前で明らかにする責任があります。

今回の事件が明るみになり、与野党は激しく対立しています。与党は「隠し撮りされた金女史は被害者だ。罪はない」と主張。野党側は、その他の疑惑とも合わせて「金建希特別検察法」を国会

で可決させましたが、尹大統領の拒否権行使で実現に至っていません。

しかし、与党内からも「説明責任を果たすよう」促す声が上がっています。特に首都圏に選挙区を持つ議員たちから強く求める声が多く、前法務部長官の韓東勲(ハン・ドフン)国民の力党非常対策委員長(事実上の与党党首)ですら「国民の心配は解かる」と発言しています。与党側が首都圏で



▲金建希女史の特検を求める韓国民衆

の選挙戦で不利が伝えられている中、挽回を狙ったものですが、明らかに金女史の不興を買ったこととされます。以前、国民の力の党首だった李俊錫(イ・ジュンソク)氏が尹大統領によって党から追い出されたことと重なって話題となっています。

もう一つ問題になっているのが尹大統領の外遊の多さです。尹大統領は就任1年半の内に14回もの外国訪問を行い、ほとんど毎月外国に出かけていることとなります。大統領室に主人がいない日が多く、メディアの一部では「低い支持率を上げるために頻繁に外国訪問を行っているのでは」との疑問も出ています。

1月18日には野党進歩党の姜聖熙(カン・ソヒ)国会議員が「全北特別自治道」発足式で、尹大統領に話しかけたところを大統領警護官に口を塞がれて、手足をつかまれた状態で強制的に退場させられたことなど、外国メディアが韓国の民主主義への疑問を一斉に報道しており、韓国のマイナスイメージが世界に広まる結果をもたらしています。

このような不正腐敗、民主主義の後退が続く尹政権を、4月の総選挙で審判して退陣に追い込みましょう。(鐵)

## 総選挙で尹錫悦政権を審判して

自主・民主・統一運動を前進させよう！

韓統連・韓青大阪

本部・支部常任委員合同新年会

2024年を迎え「韓統連・韓青大阪本部常任委員合同新年会」が1月7日(日)、新京愛館(大阪市生野区)で開かれた。

新年会では、金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表委員が乾杯挨拶を通じ「昨年(2023年)は朝鮮戦争停戦協定70周年国内行事への代表団の派遣、第28回統一マダン生野の開催など様々な行事を通じて成果を残しました。今年の上半期は何と言っても4月の総選挙です。韓統連大阪本部も韓統連セミナーなどの取り組みを準備しています。今年も力を合わせて運動を進めていきましょう」と語った。



▲新年会では親睦と交流が深められた

その後、韓国料理を食べながら、参加者同士の親睦と交流を深め、2024年も自主・民主・統一運動を推進していくことを確認した。

### 翻訳資料① 民主労総ヤン・ギョンス委員長「尹政権退陣闘争、総選挙闘争後、労組法再立法推進」

ヤン・ギョンス委員長が1月23日、民主労総の今年の事業計画を発表した。ヤン委員長は尹錫悦政権の失政の暴露で広範な退陣世論を作り、大規模退陣闘争を予告した。

新年計画で際立つ部分は尹錫悦政権退陣闘争だ。例年よりも大きな退陣闘争を実現するため、民主労総が「尹錫悦政権退陣運動本部」の拡大・強化に乗り出すことにした。

ヤン委員長は発言を通じ「新年は明るかったが、韓国社会の現在と未来は明るくない」と述べながら「退陣闘争とともに時代錯誤的新自由主義経済政策の継続で、労働者・民衆が受ける苦痛を突破できる抵抗と代案を示し、朝鮮半島の軍事的対決を防ぐための反戦平和運動を積極的に行う」と語った。

またヤン委員長は「2月24日に“尹錫悦審判、総選挙勝利闘争宣布大会”を開き、3月には総選挙闘争と結びつけて全国同時多発“尹錫悦政権審判民衆大会”を企画している」と明らかにした。これに加え「総選挙後、5月中にも大規模退陣闘争が開かれるだろう」と語った。

尹政権退陣後の構想も提示された。

ヤン委員長は「単純な政権交代ではなく、権力の体質自体を変え、韓国社会の根本的不平等問題を解消して新しい社会に進みたい」と述べ、民主労総内に「30年委員会」を構成する予定だと語った。

続いて、尹大統領の拒否権で労働改革の立法が挫折したことに伴い、労働組合法2・3条の再立法闘争も行う見通しだ。

以下は、ヤン委員長が発表した民主労総の主な方針だ。

▲尹錫悦政権退陣に続く韓国社会体制の転換、▲総選挙闘争と労働者政治勢力化、▲すべての労働者の労働権の保障、▲すべての民衆の生存権の保障、▲組織革新強化と新しい運動戦略の確立。(韓国インターネット新聞 民プラス 1/23)



▲民主労総ヤン・ギョンス委員長

## 【翻訳資料②】

涙と共に落ちた梨泰院惨事遺族の髪  
非情な与党、真相究明が怖いのか

「子どもたちを見送り、母たちの涙は川になりました。父たちのため息は大きな泰山になりました。政治をされる方々は川を顧みましたか。泰山を顧みましたか。あなたがたは何を見ましたか…私たちができることはこれ以上何があるのでしょうか。いっそ教えてください（故イ・ナムフンさんの母、パク・ヨンスンさん）」。

涙を流しながら始めた発言は絶叫で締められた。

これまで1年余りの間、断食と三歩一拝、五体投地を行って作りあげた「梨泰院惨事特別法」が、大統領の拒否権行使により霧散する可能性が高まる中、11人の梨泰院惨事の遺族たちは1月18日、龍山の大統領室前で涙の断髪式を敢行した。

この日は「梨泰院惨事特別法」の政府移送を明日に控えた日だった。与党の国民の力は議員総会を開き、尹錫悦大統領に再議要求権（拒否権）の行使を建議するよう意見をまとめた。遺族たちは非情な与党に向かって血を吐くがごとく尋ねた。「惨事の真相究明がそんなに怖いのか」と。

11人の母親、父親が白い布をかぶり、次々と断髪する瞬間、周りからは悲痛な叫び声が響き渡った。彼らのそばに立つ他の遺族たちは、見るに耐えない様子でメッセージボードに顔を埋め、涙を流していた。

一人ずつ坊主頭で席を立ち上がると互いに抱き合って号泣した。娘の遺影を胸に抱き断髪した母親も、周りが止める間もなく手に傷をつけて「真相究明」と血書を記した父親も、胸中に残った鬱憤を隠しきれない様子だった。

国民の力の尹在玉(ユン・ジェウク)院内代表は「▲法案審議、処理過程において野党単独で行われた点、▲特調委が野党7名、与党4名で構成され、公正性を担保するのが難しい点、▲国会議長の仲裁案ではなく、共に民主党案を議決した点などを理由に挙げ、尹錫悦大統領に特別法に対する再議要求権（拒否権）の行使を建議する」と明らかに

した。

しかし、このような主張は事実と異なる。昨年4月、野党議員全員が参与した特別法が発議されたが、与党の反対で法案審査は何度も中断され、遺族が極限闘争に乗り出した後ようやく法案論議は一步ずつ進むことができた。さらに国会を通過した案は、大統領の拒否権行使の可能性を考慮して、国会議長が提示した仲裁案に与党が要求した内容の大部分を反映した修正案だった。

10・29梨泰院惨事遺家族協議会と10・29梨泰院惨事市民対策会議は「尹院内代表は梨泰院惨事特別法について『毒素条項がそのまま含まれている』と批判したというが、その毒素条項とは何か？特別調査委員会の委員長推薦権が国民の力の側にな」ということか。与党の推薦する委員長が立てられ、政府の意向が調査過程に影響を与えるのなら、真相究明は適切に行われるのだろうか」と問いただした。



▲娘の遺影を胸に抱きながら断髪する母親

か」と問いただした。

両団体は「尹大統領にあらためて要請する。梨泰院惨事特別法は惨事の真実を明らかにするだけでなく、安全な社会を作るための法だ。特別法の政府移送後、即時に特別法を公布せよ。この法を拒否することは国民の意思を拒否することだ」と強調した。

イ・ジョンミン 10・29梨泰院惨事遺家族協議会運営委員長も断髪前に発言を通じて怒りの心境を吐露した。イ委員長は「与党は私たちにまたも背を向けた。最後まで私たちを国民の一人と認めず、敵とみなした」と述べ「私たちも（与党を）敵として相手しよう。今後、私たちの頭の中には大韓民国の与党はない。私たちは国民の力自体を認めない」と語った。（韓国インターネット新聞 民衆の声 1/18付より）

※尹大統領は1月30日、遺族などの要求を無視して「梨泰院惨事特別法」に対する拒否権を行使しました。

## 強制動員企業が被害者に向き合わない限り真の解決はない！

### 日本製鉄元徴用工裁判を支援する会 中田光信

昨年12月21日、韓国大法院は三菱名古屋工場に強制動員された元女子勤労挺身隊員が三菱重工を訴えた裁判と、日本製鉄に強制動員された元徴用工被害者が日本製鉄を訴えた裁判について企業の上告を退け、会社側に賠償を命じた。続く12月28日には、三菱重工と日立造船を訴えた裁判でも損害賠償を命じた高等法院の判決を確定させた。さらに今年1月11日には、八幡製鉄所に強制動員された元徴用工遺族が提訴した裁判でも日本製鉄に賠償を命じる判決が確定した。2018年10月以来5年ぶりの判決だ。

同時期に訴えた裁判で確定していないのは不二越の元女子勤労挺身隊の裁判だけとなったが、おそらく近く被害者救済の判断が示されると思われる。

一連の判決の意義は、時効の起算点を強制動員被害者の損害賠償請求権を認めた2018年の大法院判決時から始まるとして、日本企業の時効の主張を退けた点だ。つまり2018年の判決以前だけでなく2018年の判決以後に訴えた裁判(約60件・原告数は230名余)についても今後時効を理由に請求が棄却されることはないということだ。これからも被害者救済の判決が続くのは確実だ。

これらの判決について日本政府は「韓国政府が解決策に沿って対応していくと考えている」と述べている。しかし、財団が肩代わりする賠償金を受けとる原告が増えれば、寄付金で賄うとする財団の資金では対応しきれなくなる。日本企業が被害者への謝罪も1円も「出資」をしない状況で、韓国政府が財団へ資金を拠出することは韓国の世論も許さない。

また昨年12月の判決時に韓国政府の「第三者弁済」案を受け入れるかどうか問われた三菱重工を訴えた被害者遺族は「私は三菱と裁判したのだ」「とんでもない話」と一蹴したと報じられた。

財団に第三者弁済させるというその場しのぎの韓国政府の「解決策」は被害者の納得も得られず、財政的にも破綻したと言える。

日立造船については今回初めて大法院判決が確定した。判決を受けて日立造船は「日韓請求権協定及びこれに関する日本政府の見解ならびに当社主張に反するものであり、極めて遺憾」とコメントした。しかし、会社側は2019年の高等法院の判決時に強制執行(仮執行)を避けるために賠償金を供託していた。今回判決が確定したため、原告代理人は会社が納めた供託金の「差押え取立て命令」を裁判所に請求した。裁判所がこの請求を認めれば、間接的とはいえ日本企業の「資金」が被害者への賠償に充てられることになり、「請求権は日韓請求権協定ですべて解決済」とする日本政府の立場に反する事態が生じる。供託金が賠償に充てられた場合、日立造船や日本政府は請求権協定違反を理由に供託金(賠償金)の返還を韓国政府に求めるのであろうか。また現在進行している日本製鉄や三菱重工の強制執行手続きが確定し、「現金化」された場合にも返還を求めるのであろうか。

韓国で進行している一連の司法手続きは小手先の「第三者弁済」案では止めることはできない。強制動員を行った日本企業が被害者に謝罪するとともに、賠償あるいは賠償に代わる資金拠出など被害者が納得できる案を示さない限り裁判手続きをめぐる「火種」は尽きず、強制動員問題の真の解決は不可能である。



▲昨年12月21日、大法院判決後に開かれた記者会見



## 【投稿】

## 李在明暗殺未遂事件の謎

金恨源(キム・ハンウォン)

4月に予定されている韓国総選挙は、尹錫悦大統領にとっては命運を分ける重要な選挙だ。「尹錫悦退陣！」の声が高まる中、野党が3分の2の議席を確保すれば弾劾に追い込まれるし、与党が敗北すれば、3年後の大統領選挙に向けて自身のレームダックが始まる。尹大統領が生き残るためには絶対に負けられない選挙だ。熾烈な選挙戦の火花が散る中の新年1月2日、共に民主党の李在明代表が釜山で襲撃されるという衝撃的な事件が起きた。大統領選挙で1600万票あまりを集め、僅差で敗れた大物野党政治家が白昼堂々とテロに襲われたのだ。

## ●奇跡の生還

1月2日午前10時30分頃、李代表は釜山の新空港建設予定地を見下ろす大項(テハク)展望台で歩きながら記者団の囲み取材を受けていた。

そこに支持者を装った男性がサインを求めて近づくと、いきなり凶器で首を刺されたのだ。まさに一瞬の出来事であった。

李代表は倒れ、出血した首にハンカチが押し当てられたが、現場が市内から離れていたため救急車が到着するまで23分もかかった。釜山大病院で応急措置を受け、午後1時頃、ヘリコプターでソウル大病院へ移送され、2時間にわたる手術の結果、かろうじて一命を取り留めた。内頸静脈の60%が損傷しており、傷が頸動脈まで達していたなら救急車が到着するまでに死亡していた可能性が高いという。刃がワイシャツに触れたことが幸いした。まさに間一髪で助かった。奇跡の生還である。

## ●深まる謎？

犯人はどんな人物なのか？1月10日、警察は最終捜査結果を発表したが、犯人は金某(66歳)、顔写真や本名、所属政党は公開せず、犯行動機を書いた「弁明書」8ページには「国が左派勢力の手に渡ることを阻止するため」という内容

があり、「李在明が大統領になることを防ぐために襲撃したが共犯者はなく、背後勢力もない」と言う。

政治テロ犯の氏名や写真を公開しないというのは異例であり、犯人の政治信条を知る上で重要なポイントである所属政党も公表しなかったのも問題だが、核心は「共犯者はなく、背後勢力もない」という見解だ。保守系新聞はすべて「単独犯で背後勢力はない」と報道しているが、韓国の市



▲襲撃犯に首を刺され、倒れこむ李在明代表

民メディアは警察発表のウソを次々に暴露している。

まず、犯行の前日に犯人が宿舎のモーターの前で白のベンツから降りる映像を探し出し公開した。単独犯説を覆す決定的な物的証拠だ。しかし、警察は共犯の疑いがあるベンツの持ち主と同乗していた従弟を簡単な事情聴取のみで帰

宅させている。

次に、犯人を犯行現場まで乗せたタクシー運転手を探し出した。運転手の話によると展望台まで行く人は、普通「展望台まで」と口頭で指示するが、犯人は自分のスマホの着信メールを見せて、「この住所に行ってくれ」と指示したという。その住所を指示した人物が共犯者である可能性が高いにもかかわらず、運転手は警察でその内容を伝えたが、担当刑事の反応は鈍く、スマホも調査されることはなかったとのことだ。さらに運転手の話では、その時犯人は肩掛けカバンを持っていたという。犯行当時、犯人はリックサックを背負っていた。肩掛けカバンはいつリックサックに変わったのか。謎は深まるばかりだ。

いずれにしても警察が不当な捜査をして事実を隠蔽しているのは間違いない。その不正な捜査を指示しているのは誰なのか。検察か総理室かそれとも大統領室か。4月の総選挙の100日前に起きた政治テロ。真相の究明が急がれる。

## 【書籍紹介】

## 東大生が書いたやさしい物理の教科書

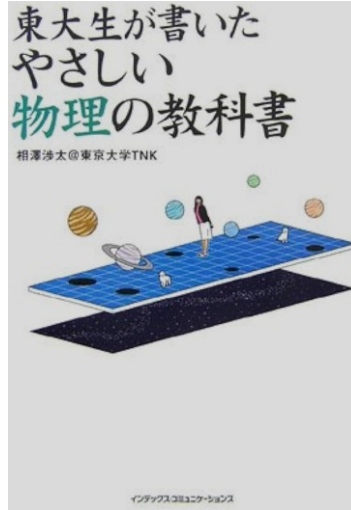
著者:相澤渉太

東京大学TNK/1760円

私が高校で勉強した物理 I (力学) は古典物理に入る分野だそうです。東大生が勉強する物理学はどんなにか高大なものだろうか。そのような関心からこの本を手に取りました。正直なところ、高校までの物理学の話では理解できていなかったのです。

内容の一部を紹介します。「電磁気学にベクトルの概念(大きさと向きをもった物理量)を持ち込んだことが功績だったマクスウェル。私は他にも船に乗っている人が、球を落として船の上はどうして落ちるのか? 船が動き、人は静止している。だから球は人の下に落ちるのだから船からはみ出るとい物理の問い。しかし、このような問題は慣性系の導入によって解決できる。人も船の一部として静止状態で動いているのである。それならば、ああ、だから球は船に落ちるのかと納得するだろう」。

私たち韓統連は自主、民主、統一の旗のもと祖国統一運動をしています。それは良い社会のために、引いては自分の所属する在日朝鮮人というカテゴリーが、しばしば日本社会において抑圧的であり、差別の対象、低くされたものであるから、後世にはあらためられるようにと私は活動しています。



韓統連において「愛国論」は、祖国解放運動と並んで在日同胞の解放の原点を確認するために私は使っています。しかし、運動圏の動きは日々変わっています。朝鮮とアメリカが首脳会談をしたかと思えば、日本と韓国の首脳が経済的な野心や協力を仰ぐ結託から、朝鮮の行動を抑制し、戦争策動を行っています。

日本の中で私たちは抑圧されています。その状況を政治的な活動などで打開しようとしているのが韓統連です。だから、私たちはアメリカの覇権的、強権的なアジア外交も、日本の閉鎖的な朝鮮理解も容認できません。自己保存と言葉(意見を話すこと)を通して私は要求するのです。大きな経済的な要求ではなく、朝鮮名を呼ばれること「あなたはどのような社会的存在です

か」と関心を思ってもらい、「共に(現状と)闘おう」と私を誘う韓統連の諸先輩方のように活動したいし、「時間の速さは変わらないよ」と書いているこの本のように、地球規模で起こることは同時に起こっていると、私自身が自認しながら活動をしたいと思います。

私はこの本を活動に活かそうと思います。読み物として十分な内容でした。皆さんにもお勧めします。物理学を学び直しませんか?(法師)

## ◆◆行事案内◆◆

2024韓国総選挙を考える集い	連帯の夕べ
日時: 3月24日(日) 午後1時30分 受付 午後2時 開会	日時: 4月21日(日) 午後4時 受付 午後4時30分 開会
場所: KCC会館5階ホール 地下鉄今里駅下車2番出口から徒歩7分	場所: KCC会館5階ホール 地下鉄今里駅下車2番出口から徒歩7分
内容: 講演「韓国国会議員選挙と私たちの課題」 講師: 金昌五 韓統連大阪本部副代表委員 在外選挙人投票の案内 他	内容: 第1部 記念講演 講師: 宋世一 韓統連委員長 第2部 懇親会
参加費: 800円(青年学生: 500円)	参加費: 4000円
主催: 韓統連大阪本部 090-3822-5723 (崔)	主催: 韓統連大阪本部 090-3822-5723 (崔)